

課題名	ヤノネカイガラムシのマシン油乳剤による防除時期								
成果の要約	粘度85~90秒のマシン油乳剤(97%)200倍の5月と7月の2回と粘度70秒のマシン油乳剤(98%)の8月下旬散布は防除効果が高く、薬害もなかった。								
概	散布時期、回数を変えた場合のマシン油乳剤のヤノネカイガラムシに対する密度抑制効果 (注) -は調査なく、無散布区からの推定値、()内はモデルによる推定値								
績				雌 成 虫 数			増 加 率		
	区			越冬世代 (5月16日)	第1世代 (7月23日)	第2世代 (9月27日)	第1世代	第2世代	第1.2世代
概	1.5月	スピンドロン	200倍	72.0	22.0 (125.8)	74.5	0.31	3.39	1.03
要	2.5月 7月	スピンドロン	200倍	113.0	16.5 (197.5)	19.0	0.15	1.15	0.17
	3.6月	スピンドロン	200倍	96.0	44.5 (42.5)	105.5	0.46	2.23	1.10
	4.6月 7月	スピンドロン ラビサンスプレー	200倍 200倍	36.0	15.0 (15.9)	34.5	0.42	2.27	0.97
	5.7月	スピンドロン	150倍	65.5	482.7	180.0	7.37	0.37	2.75
	6.6月	スプラサイド	2000倍	72.0	24.5 *(27.1)	30.0	0.34	1.22	0.42
	7.	無散布		29.7	219.0	1146.3	7.37	5.23	38.60
	<p>※ スプラサイド乳剤の2000倍は散布時の1.2令幼虫100%、未成熟成虫80%の殺虫効果があり、成虫に対しては以倍の産仔数を0にする効果があるとして推定した。</p> <p>(長崎果試)</p>								